PETER DAVID BETER・音声書簡 第15号

1976年8月2日

テーマ1 ベター氏のロックフェラーの売り出し疑惑

1 1938年の西洋の和平と1970年代の外交を比較した。



2 彼はヘルシンキの入植地を別の危険な安心地として描いている。



3 彼は、ソビエトの軍事活動に関するデンマークと西ドイツの警告を引用しています。



4 ソ連の船舶や潜水艦、航空機への懸念について、彼は日本側について述べている。



5 イギリスとオーストラリアの声は、抑留の約束に疑問を投げかけている。



6 ブラウン、ホロウェイ、ズムウォルトは、アメリカ海軍の弱点の出来事の彼のバージョンで特徴付けられます。



7 ベターはキッシンジャー、フォード、ロックフェラーの利益が危険を隠していると告発する。



8 ソ連の裏切りがロックフェラーの権力を破壊できると論じている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第15号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第15号

1976年8月2日

テーマ2 ベター氏の海軍のサプライズ攻撃シナリオ

1 彼は貿易、物資、そして生存において海の本質的な役割から始めます。



2 セルゲイ・ゴルシュコフ提督は、世界的な海軍を造ったと信じている。



3 より良い米国のヤード閉鎖と失われた基地とソ連の造船と対照的です。



4 ディエゴ・ガルシアと、トンガに基地を構えるソ連の努力について論じる。



5 ゴルシュコフの声明は、海上での政治的圧力の準備として読まれている。



6 欧米のアナリストは、ほかの武器や教義に気を取られていると、彼は言います。



7 彼のシナリオは、海岸に隠れているミサイルや爆弾の疑いに依存している。



8 ライバル艦隊と重要な海路に対して同時に打撃を警告する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第15号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第15号

1976年8月2日

テーマ3 彼の主張する世界規模の海底配備

1 ベターは、アメリカとカナダの海域で16発の武器を挙げた。



2 少なくとも、全世界で64の武器施設が発見されたと報じています。



3 北欧、イギリス、アイルランド、アイスランドなどは、かなり露出している。



4 彼はナポリ、ジブラルタル、南アフリカ周辺の武器を主張する。



5 彼の証言にはガイアナの陸上ミサイルやペルシャ湾も含まれていた。



6 インド、東アジア、フィリピン、オーストラリアに生息する。



7 彼の開示は、驚きの利点を取り除くことを目指していると、彼は言います。



8 真珠湾の類似点と行動への訴えで終わります。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第15号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。